

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の間には多くの労働者に広げてください。



2026年1月7日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2026年春闘 No.1

2025年度推進ニュース⑧通算 399

発行責任者 小島 茂

新年あけまして
おめでとーございます



二〇二六年春闘のスタートです。

国民は歯止めなき物価高と実質賃金の低下、貧困と格差社会の拡大で疲弊し、現状打開は待たないとなつています。

一方、高市首相は国民の願いに応えず高い支持率に乗じて自らが崇拜する安倍元首相が進めた「戦争する国づくり」の完成に狂奔していますが、自民党の支持率は低迷したままです。

神奈川県南支部は、労働者・国民生活改善をめざす全労連・建交労に結集し、今春闘でのトラック労働者の大幅賃上や労働時間短縮、適正運賃収受などの諸要求・諸課題の実現に全力を上げます。

さて、高市首相が「彼にノーベル平和賞を」と持ち上げた米トランプ大統領は南米ベネズエラを一方的に攻撃し他国の主権を蹂躪して同大統領夫妻を拘束し公然と同国の石油強奪を狙っています。この行為に米国内を含む国際社会が激しく非難するなかで高市首相は沈黙しトランプの蛮行を事実上容認しています。

私たちは満身の怒りを込めてトランプに抗議し国際法などの遵守を求めます。

また、日本政府には憲法九条を活かして米・ロ・イスラエルによる武力攻撃即時停止をはじめ世界の武力紛争根絶めざし平和外交に徹することを強く訴えます。

イワサワ分会3名が勤通大入門コース修了 26年度も入門コースに2名の受講確認！

神奈川県南支部イワサワ分会の木下分会長、天野副分会長（当時）、萩野書記長は昨年の勤労者通信大学入門コースを受講し、テキストによる独習を続け2回の集団学習会も行つて見事に修了しました。また、勤通大事務局からの特別な要請に応じて3名で以下の「レポート」も送りました。

🍀 **レポート【(勤通大で)** 組合は数の多さが大事ということに気づかされました。1人じゃ勝てなくても人数が多ければ間違っているものを正しい方向に向けられると思いました。また組合がなければ会社の思い通りになって、労働者というより奴隷になってしまい、自分たちの生活が不安にさらされると感じました。そして、日米安保条約を1960年に結んでいなければ、今の日本はどのようなになっていたのか、また、この条約を知らない人のほうが多く「地位協定」がいかにひどいものなのかを勉強する必要があることを感じました。

最後に勤通大を通して、人権というものの必要性を感じました。「学習の友 2026 春闘」「平和と民主主義のゆくえ」の記事に「人権」について書いてあるので、今回受講した3人そして分会でも読んで色々考えて意見交換をしていきたいと思います。】

このイワサワ分会は「今年度の勤通大入門コースにも2名の組合員が受講することを決定しています。頑張りましょう。

他の分会からの勤通大受講も呼びかけます。



勤通大修了証書を手に写真に納まるイワサワ分会の仲間